

## 事業所における児童発達支援自己評価集計結果

公表：平成31年3月27日

事業所名：行田市社会福祉協議会児童デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの特性が違う児童が、同じ活動を行うときに課題を感じる。</li> <li>バリアフリー化しているが、十分とはいえない。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末にアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。ガイドラインに基づく評価は、今年度初めて実施する。</li> <li>保護者同伴での通所なので、何かあればその場で確認しているが、保護者の遠慮もあると思う。</li> </ul>
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度より実施予定(H31年3月末、HP公開予定)</li> </ul>
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職外部講師(PTやST)により、業務に関する助言をいただいている。</li> <li>市保健センターの保健師が定期的に事業所を訪問し、業務相談等を行っている。</li> </ul>
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部、外部の研修に参加している。また、研修に参加した職員が講師となり、内部で伝達講習を行っている。</li> </ul>
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援員による支援計画に基づき、児童及び保護者と面接を行い、ニーズ及び課題の把握に努めている。また、必要に応じて、他事業所等(幼稚園、保育所及び医療機関)からの資料もいただき、これらを踏まえ児童発達支援計画を作成している。</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健医療機関等で実施された、発達検査等を活用している。事業所用のアセスメントツールがあっても良い。</li> </ul>
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインに基づき必要な支援を適切に選択しているが、十分とはいえない。</li> <li>地域支援の中で、児童委員の介入はない。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援計画に沿って、当日の支援内容を療育記録に記録及び保護者に口頭で伝えている。</li> </ul>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムは主担当者が立案し、日々の打ち合わせの中でスタッフ全員が共有し、決定している。</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童の年齢、課題及び活動レベルに合わせて、個別のプログラムを立案している。</li> <li>児童発達支援専門研修等の内容や、外部講師の意見を参考に、プログラムに反映するよう努めている。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童の状況に応じて、(PTの個別指導等)適宜行っている。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前の打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認している。</li> <li>見学や体験利用等での様子も、事前にスタッフ全員に申し送り、共有している。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス終了後のスタッフミーティングにて、気づいた点や保護者からの聞き取り内容を申し送り、スタッフ全員で共有している。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>各利用児童ごとに、担当者が療育記録を作成し、支援の検証・改善につなげている。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回モニタリングを行い、また、必要に応じて適宜行っている。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	・相談支援事業所の要請に基づき、対象児童の担当者またはサービス管理責任者が毎回参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	・地域の保健師や保健医療機関の担当者と連携をはかるよう、努めている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1	・必要に応じ、許可をいただいたうえで児童の医療機関受診に同伴し、主治医から情報提供(児童発達支援を提供する際の注意点等)をいただいている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・市内や近隣の特別支援学校巡回相談を実施している。また、相談支援事業所相談員や保護者要請等により、移行会議も行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・特別支援学校コーディネーターによる定期巡回に際し、情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	・他事業所からの見学はある。また、共通(併用)の利用者について、少しづつではあるが、他事業所のサービス提供時間に訪問し、連携に努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	・保育所、幼稚園等を併用している児童については、交流があるといえる。併用がない児童については、この限りではない。 ・社協が主催する他事業のイベント(人形劇や福祉まつり)に参加いただくことで、交流の機会は設けている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	7	・事業所としての参加はない。要請があれば参加をしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	・保護者同伴での利用となっているため、その都度話し合えるようにしている。また、子どもの状況について、日頃から話し合っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	7	・個別には行ってないが、集団での講話をとoshi、子どもへの対応について、指導や助言を行っている。 ・今後は、スタッフが講師となり、保護者に対しペアレントトレーニングの講話を行っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	・利用契約締結時に重要事項説明書に基づき、サービス内容、利用者負担について説明している。また、利用料金の改定があった際も、改めて説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	・ガイドラインに作成した児童発達支援計画を、保護者に説明し、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	・日頃より保護者とはコミュニケーションをはかりながら、他事業所や家庭内での状況や困りごとを確認し、必要な助言や支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	・保護者会はないが、保護者同伴の通所される際、子どもと分離し、保護者どうしの交流がはかれるよう、配慮している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	・事務所内に、管理者のみ閲覧可能な鍵付きの書庫を設け、個人情報の取り扱いに注意している。また、取り扱い内容について書面で説明し、同意をいただいている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	・事業所が主催する地域交流イベント(福祉まつり、やすらぎの里まつり)を毎年開催している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	・各種マニュアルを整備し、救急時に速やかな対応ができるよう職員に周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	・施設全体の避難訓練を、年2回行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1	・利用契約締結時に調査票に記入してもらうことで、把握に努めている。変更があった際は、その都度確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	・食事サービスの提供は行っていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4	・その都度作成し、事業所内で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	・職員間で情報を共有し、気をつけている。 ・外部研修等の機会を設けたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	4	・やむを得ず身体拘束を行う場合は、事前に支援計画や保護者に十分説明し、了解を得たうえで、対応する。また、その際は、利用者及び保護者への経緯説明と療育記録に記録をする。